

第 25 回  
第二言語習得研究会(JASLA)  
全国大会  
予稿集

大会テーマ

第二言語での引用はなぜ難しいか

2014 年 12 月 13 日(土)～14 日(日)  
於 筑波大学(中地区第 1 エリア)  
(〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1)

◆目次◆

プログラム・予稿集掲載内容一覧 .....	2
筑波大学キャンパス周辺地図 .....	6
予稿集 .....	9
『第二言語としての日本語の習得研究』投稿規定・書式 .....	119
第 26 回第二言語習得研究会(JASLA)全国大会研究発表の募集 .....	125
第二言語習得研究会(JASLA)2014 年役員・委員 .....	126

## プログラム

### ■ 12月13日(土) (1H101 教室他) ■

11:50 受付 (1H101 教室前)

12:20~13:20 ≪ワークショップ≫ (1H101 教室)

論文投稿ワークショップ <さあ、論文を投稿しよう！>

清水崇文 (上智大学, ジャーナル委員会委員長)

大関浩美 (麗澤大学, ジャーナル委員会副委員長)

向山陽子 (お茶の水女子大学, ジャーナル査読委員) : p. 9

13:30 開会 (1H101 教室)

司会 松崎 寛 (筑波大学)

開会宣言

鎌田 修 (第二言語習得研究会会長)

開催校挨拶

永田 恭介 (筑波大学学長)

第3回佐々木嘉則賞授与式

受賞論文: 接続詞「で」の指導に関する実験的研究

ーインプット洪水・インプット強化・明示的な文法説明の効果ー

執筆者: 宇佐美 恵子 (名古屋産業大学)

13:45~17:00 ≪パネルディスカッション≫ (1H101 教室)

第二言語での引用はなぜ難しいか

司会・ファシリテーター: 菅谷 奈津恵 (東北大学) : p. 10

「引用の前提としての読解とL2の読み手にとっての困難点」

石井怜子 (麗澤大学) : p. 12

「第二言語としての日本語によるパラフレーズと引用」

鎌田美千子 (宇都宮大学) : p. 18

「盗用と言われない引用指導」

吉村富美子 (東北学院大学) : p. 24

17:00~17:15 総会・事務局からの連絡

17:30~ ≪懇親会≫ (筑波大学第1エリア喫茶 スープファクトリー)

■ 12月14日(日)(1D201・1D204・1H101 教室他) ■

8:30 受付 (1D204 教室前)

9:00~10:30 ≪ワークショップ≫ (1D301 教室) 司会: 杉本 巧 (広島国際大学)

SPOTによる日本語能力測定ワークショップ  
ー運用力を推定する間接テストー

小林 典子 (元 筑波大学)

酒井 たか子 (筑波大学) : p. 30

10:40~11:40 ≪口頭発表1≫ (1D201 教室) 司会: 西川 寛之 (明海大学)

10:40~11:10 中国人日本語学習者の「不同意」行為における認知プロセス  
ーフォローアップ・インタビューの考察ー

堀田 智子 (東北大学大学院専門研究員) : p. 31

11:10~11:40 日本語学習者の「提案-応答」の隣接ペアの構築  
ー「応答」の位置と発話内容に着目してー

伊藤 亜希 (広島大学大学院生) : p. 37

10:40~11:40 ≪口頭発表2≫ (1D204 教室) 司会: 向山 陽子 (お茶の水女子大学)

10:40~11:10 視点の表し方 ー〈気づき〉とアウトプットとの関係ー

Le Cam Nhung (昭和女子大学大学院生) : p. 43

11:10~11:40 初級日本語教室でのタスク遂行過程における「援助」と「協働」

御舘 久里恵 (鳥取大学) : p. 49

11:15~12:30 ≪ポスター発表≫ (1E203・1E204・1E205 教室)

担当: 菅谷 奈津恵 (東北大学)

(1) Oddity タスクによるタイ人学習者のアクセント知覚の困難点

ー正答率と反応時間による分析ー

シリカネラット タナサック (東北大学大学院生)

菅谷 奈津恵・吉本 啓 (東北大学) : p. 55

- (2) 成人日本語学習者の語彙力をどのように測定するか  
 ー研究論文における測定方法の分析からー  
 崔 娉 (お茶の水女子大学大学院生) : p. 57
- (3) 自然習得者の連体修飾構造における中間言語体系  
 小田 佐智子 (大阪大学大学院生) : p. 59
- (4) JFL 環境下の日本語学習に関わる情意的要因の影響 ー習熟度の比較からー  
 石橋 玲子 (昭和女子大学) : p. 61
- (5) 日本語の関係節の処理に有生性が及ぼす影響  
 ーセルフペーストリーディング実験による日本語母語話者と中国語話者との比較を通してー  
 岡崎 優樹 (名古屋大学大学院生) : p. 63
- (6) 学習者における日本語指示詞の習得過程  
 ー「これ」「それ」「あれ」の使用からー  
 猪股 来未 (麗澤大学大学院生) : p. 65
- (7) 日本語授受補助動詞の習得について  
 ー日本語教科書とコーパスの用例を比較してー  
 朱 炫姝 (筑波大学大学院生) : p. 67
- (8) 中国語を母語とする上級日本語学習者における中日同形同義語・異義語の聴覚的認知 ー語彙判断課題による実験的検討ー  
 費 曉東 (広島大学) 徐 婕・趙 静・西本 淳一郎・吉村 瑞希・  
 徐 芳芳 (広島大学大学院生) 松見 法男 (広島大学) : p. 69
- (9) 日本語シャドーイングにおける文の音韻・意味処理に関する研究  
 ー作動記憶容量の観点からー  
 韓 暁 (広島大学大学院生) : p. 71
- (10) カタカナを字形類型別に導入することは習得に寄与するか  
 森塚 千絵 (日本工業大学) : p. 73
- (11) 教師のモデル発音が学習者に与える影響  
 ー中国人日本語学習者の単母音習得を対象としてー  
 金 佳 (筑波大学大学院生) : p. 75

**\*\*\* 12:30~13:30 昼休み \*\*\***  
 (昼休みの間も、ポスターは引き続き展示されます)

13:30～15:00 <<基調講演>> (1H101 教室)

司会：澤崎 宏一 (静岡県立学)

子どもと L2 学習者はどのように語彙システムを構築するのか

今井 むつみ (慶應義塾大学) : p. 77

15:15～16:45 <<口頭発表 3>> (1D201 教室)

司会：杉本 巧 (広島国際大学)

15:15～15:45 中国語を母語とする日本語上級学習者の読解と聴解における認知的負荷の比較

高 飛 (名古屋大学大学院生) 木下 徹 (名古屋大学)

梶浦 眞由美 (名古屋大学大学院生) : p. 83

15:45～16:15 第二言語としての日本語文の繰り返し音読における言語情報処理  
— 単語の音韻符号化の高速性と音読回数が与える影響 —

佐藤 智照 (国際交流基金日本語国際センター) : p. 89

16:15～16:45 テキスト理解時の語彙推測に語彙知識とトピックへの馴染み深さが与える影響 — 日本語学習者と日本語母語話者の比較を通して —

山方 純子 (神田外語大学) : p. 95

15:15～16:45 <<口頭発表 4>> (1D204 教室)

司会：西川 朋美 (お茶の水女子大学)

15:15～15:45 日米バイリンガル環境下で育つ高機能自閉症児の語彙発達

ウェイ諸石 万里子 (パデュー大学) : p. 101

15:45～16:15 「ね」の学習者ルールが発達の体系化の試み

— 学習者コーパスを使用した縦断的調査 —

藤田 裕一郎 (朝日大学) 立部 文崇 (徳山大学) : p. 107

16:15～16:45 日本語作文の到達度を評価する指標の抽出

— 「タスク別書き言葉コーパス」を使って —

李 在鎬 (筑波大学) 長谷部 陽一郎 (同志社大学) 嵐 洋子 (杏林大学) : p. 113

16:50～17:00 閉会式 (1D201 教室)

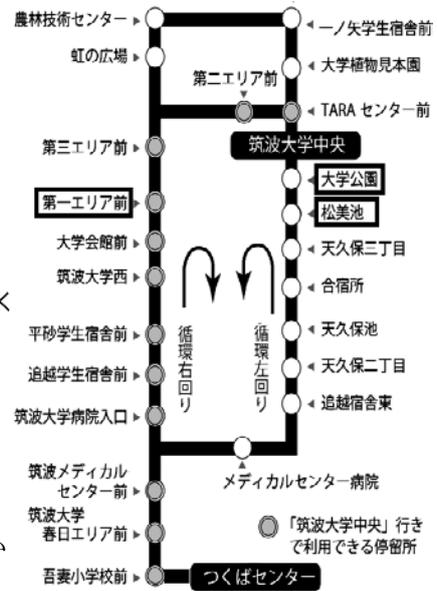
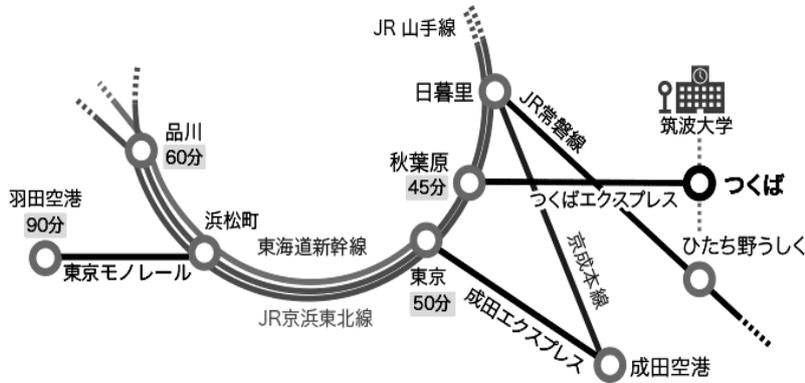
司会 西川 寛之 (明海大学)

第 26 回全国大会のお知らせ

菅谷 奈津恵 (東北大学)

## ●筑波大学案内・周辺地図

〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1



- (1) つくばエクスプレス秋葉原駅から快速 45 分、「つくば駅」下車+つくばセンター 6 番乗り場の「筑波大学中央」行きか「筑波大学循環右回り」で「第一エリア前」下車。または「筑波大学循環左回り」で「松美池」か「大学公園」下車
- (2) 東京駅八重洲南口の筑波大学行き高速バス（約 75 分）で「筑波大学中央」下車。
- (3) JR 常磐線「ひたち野うしく駅」「荒川沖駅」「土浦駅」から「筑波大学中央」行きバス（約 40 分）またはタクシー（約 20 分）。
- (4) 成田空港，羽田空港，茨城空港から「つくばセンター」行きバス+(1)の大学行きバス

詳細は、[http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html)

